

妻有地域における 消費者交流会

昨年11月に実施いたしました村上地域交流会に続きまして、3月1日（火）に妻有地域における消費者交流会を開催いたしました。

妻有地域での交流会は、今回で2回目となりますが、今年度は流通から消費に至るまでの過程における衛生管理の取り組み等を紹介しました。はじめに上越保健医療福祉専門学校・学校長の岩澤信様より、『家庭における食肉の衛生管理について』と題した講演をしていただきました。畜産物をとりまく衛生問題とその対応策、日本における食中毒の発生状況と食中毒予防の三原則など、生産者・消費者ともに気がかりな問題をテーマにしており、とても実り多き講演であったと感じています。

続いて、実際に豚肉の美味しさを確かめていただくため、妻有ポークを含む3銘柄の食味比較調査、妻有ポークを使った料理の紹介をしました。



3銘柄の食味比較調査（しゃぶしゃぶ）

農業生産法人「ファームランド木落」の視察では、衛生対策のため防護服に長靴・手袋・マスクを装着して食肉加工施設に入り、専務の羽鳥和則様より異物混入防止策などについて説明していただきました。徹底した衛生対策に参加者からは「これなら安心して、安全な豚肉を食べることができますね」という声も聞こえてきました。



パネルを使って分かりやすく講演する岩澤校長



熱心に耳を傾ける参加者のみなさん

編集後記

昨年の今ごろは寒さも和らぎ日差しに春の暖かさを感じると日記にありましたが、今年の県内は19年振りの豪雪に加え3月に入っても降雪に見舞われる等雪害も大変なものです。2月の上旬から中旬にかけて十日町市と魚沼市（旧広神村）に経営診断で現地に入りましたが、2階建ての畜舎がすっぽり雪で覆い尽くされそうになっていました。除雪のために重機を何度も頼み経費の支出も大きいと経営者のほやきも聞かれました。今年の豪雪は、畜舎を倒壊させるなど雪害を多くもたらしております。春の雪解けが待ちどおしいです。新潟県民はある程度の積雪に慣れているとはいえ近年小雪で雪解けも早かったせい今年積雪は目に余ります。カレンダーも3月の中旬、もう少しで若草が芽生える季節と首を長くして待っております。

（花田記）